

## 【苓北町地域おこし協力隊】 ふるさと納税推進 1名

担当課：総務課

### ■現状

苓北町では、基本目標である「安心して住める町」「いきいきと暮らせる町」「ふるさとと叫べる町」の実現に向け、苓北をさらに元気にするため、『ふるさと納税(天草・苓北ふるさとづくり寄附金)』に取り組んでいます。しかしながら、苓北町におけるふるさと納税の寄附額は、知名度もまだまだ低く、寄附額が伸び悩んでいる現状にあります。

【令和3年度寄附額：21,066千円(1,337件)、令和2年度寄附額：15,511千円(858件)】

今後は、バラエティーに富んだ返礼品の更なる拡充や、ポータルサイトをはじめとしたSNS媒体での「天草・苓北ふるさとづくり寄附金」の情報発信等による魅力発信を行うことで、現状の寄附額をさらに伸ばしていきたいと考えております。

是非、私たちと一緒に、苓北版ふるさと納税の寄附額の増収や返礼品となる地元産品の新規発掘・開発等の業務に熱意を持って取り組んでいただける方をお待ちしております。

### ■主な業務

- ①返礼品提供事業者等と連携した新規返礼品の発掘・開発、既存返礼品の磨き上げ
- ②ふるさと納税の寄附額増収に向けた取組の企画・立案
- ③ふるさと納税返礼品の魅力発信に向けた取組の企画・立案
- ④ふるさと納税をPRするための情報発信

### ■担当課からの応募条件

- ①地域の方と積極的にコミュニケーションを取り、地域活動に取り組む意欲のある方
- ②普通自動車免許、基礎的なパソコンスキルを持つ方
- ③流通業や広告業に関心があり、新しいことに挑戦することに強い意欲を持っている方
- ④広い視野を持ち、連携により業務を遂行できる方
- ⑤既存の取組にとらわれず、新たな提案ができる方

### ■隊員期間終了後の定住に向けたビジョン

- ①ふるさと納税関連業務を活かした事業展開活動



## 【苓北町地域おこし協力隊】 デジタルデバйд対策 1名

担当課：行革デジタル対策室

### ■現状

苓北町では自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進を強力に推し進めるため、令和4年度から役場内に「行革デジタル対策室」を新設し、行政はもちろんのこと、地域のDXに積極的に取り組んでいます。特に、本町の大きな課題である「少子高齢化」問題に今後対応して行くためには、ICT技術を活用した取り組みが欠かせません。

そのため、本町では高齢者を中心としたスマートフォン教室の開催や、双方向型の情報配信アプリの導入などを行い、「人に優しいデジタル化で創る、誰もが便利で住みよいまちづくり」を目指してデジタルデバйд（情報格差）対策に積極的に取り組んでいます。また、今後はメタバースなど新しい技術を活用した高齢者対策、地域づくり対策、プログラミング教育など、新たな取り組みに挑戦して行く予定です。

地域に根ざし、地域の皆さんに寄り添って、新しい取り組みに挑戦して頂ける人材を求めています。

### ■主な業務

- ①町内全域においてスマートフォンや、アプリの活用方法などについて町民のサポートを実施（各地区公民館でのデジタルサロン開催など）
- ②地域DXの企画、推進活動地域に必要なDX施策の企画や実現に向けた調査・立案（高齢者や農林漁業、観光、教育など各分野の課題解決につながるようなデジタルサービス）

### ■担当課からの応募条件

- ①社交性があり、地域の人（特に高齢者）と積極的にコミュニケーションが取れる人
- ②地域行事や地域活動に積極的に参加することができる人
- ③普通自動車免許、パソコンやスマートフォン等デジタル機器の基礎的スキルを持つ人
- ④DXを始め、新しいことへの関心があり、常に学習意欲のある人

### ■隊員期間終了後の定住に向けたビジョン

- ①役場職員
- ②DX関連の地元ベンチャー企業等への就職

## 【苓北町地域おこし協力隊】 移住・定住推進 1名

担当課：企画政策課

### ■現状

苓北町の移住・定住対策の現状としては、令和2年度に現在の空き家バンク制度に見直しを行い運用してきましたが、物件登録数が非常に少ない（令和5年3月現在登録数：空き家2件、空き地3件）ため、移住・定住希望者のニーズに十分応えられていない状況です。（※令和4年度に空き家バンク制度を利用した移住者は1名）

町内には一定数の空き家が存在し、所有者においても空き家の利活用へのニーズがあると思われていますが、空き家バンク登録までには至っていないのが現状です。原因としては、相続登記の問題、仏壇や家財の処分、お盆や正月の一時帰省時の利用、空き家バンク制度の周知不足等、様々な要因があると考えられますが、現在、町の職員が他業務と兼任で対応していることもあり、新規物件の掘り起こしや柔軟な発想等、十分な対策ができていないのが現状です。

### ■主な業務

- ①移住相談窓口業務
- ②短期就労及び観光型移住体験業務  
（事業者と参加者を結ぶコーディネーター・観光アテンド業務）
- ③移住・関係人口創出のための広報業務
- ④空き家バンクの運用

### ■担当課からの応募条件

- ①事業者や参加者、地域の方とコミュニケーションをとり、地域活動に取り組む意欲のある方
- ②社交性があり初対面の人とも積極的にコミュニケーションがとれる方
- ③普通自動車免許・基礎的なパソコンスキルを持つ方

### ■隊員期間終了後の定住に向けたビジョン

- ①移住希望者と行政・地域・関係団体をつなぐ中間支援組織の立ち上げ
- ②町の移住コーディネーター

## 【苓北町地域おこし協力隊】 観光振興 1名

担当課：商工観光課

### ■現状

苓北町は、雲仙・天草国立公園に指定されるなど自然豊かで、島原・天草一揆で天草四郎一揆勢が攻め落とせなかった「富岡城」や「おっぱい岩」などの観光名所があり、「天草天領岩かき」や「緋扇貝」、「レタス」、柑橘類などの豊かな海産物や農産物、天草陶磁器などの特産品があるにもかかわらず、町としての認知度が低く、数年来観光客は減少傾向にあります。

町では、観光客の町内での滞在時間の延長を図ることで、観光・物産につなげることを目的に令和4年度に「サンセットクルージング」等の観光商品を造成しました。これまでもあまくさ苓北観光協会と連携しながら、ホームページや SNS 等を活用し情報発信に取り組んできましたが、アフターコロナの旅行需要を取り込み、より多くの方に認知していただくためには、これまでのような行政色の強い周知の手法ではなく、リアルタイムで旬の情報を発信していきたいと考えています。私たちと一緒に苓北町の魅力を情報発信してくれる方をお待ちしています。



### ■主な業務

- ①様々なツール（SNS、動画等）による観光情報の定期的な発信
- ②新たな特産品等の開発及び町内事業者と連携した既存の商品を集約し、販売展開する等、新たな流通先を獲得するための取り組み
- ③観光協会の自走化に向けた、協会の運営に係る事務的補助

### ■担当課からの応募条件

- ①観光業務・情報発信業務に興味のある方
- ②地域の方と積極的にコミュニケーション図り、地域活動に取り組む意欲のある方
- ③明るく協調性のある方
- ④SNS等情報発信ツール及び写真・動画（撮影・編集含む）を使いこなせる方

### ■隊員期間終了後の定住に向けたビジョン

- ①あまくさ苓北観光協会の事務局員（各プロジェクト推進）